

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (地域防災対策総合治山事業)	事業計画期間	平成 26 年度～平成 35 年度(10 年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	十勝岳(白金)(とちだけ(しろがね)) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該箇所は、美瑛町から南東へ約 21km に位置し、十勝岳連峰を主峰とする大雪山国立公園内にあり、日本でも有数の活火山である。大正 15 年 5 月の大噴火により流出した火山泥流により、上富良野町及び美瑛町で死者・行方不明者あわせて 144 名もの尊い人命が失われた歴史がある。国有林では昭和 32 年より治山工事が実施され一定の成果を得てきたところである。</p> <p>しかし、融雪型泥流等を想定したシミュレーション結果等から、現在の治山施設だけでは保全対象である白金温泉に泥流被害が及ぶ恐れがあることから、溪間工(導流堤等)を実施することにより、山麓で氾濫した泥流を捕捉し、また流下方向を制御することにより、下流域の保全を図るため当事業を計画したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容： 導流堤 5 基 遊砂工 6 基 嵩上工 3 基 本数調整伐 39.00 h a ・ 主な保全対象： 宿泊施設 8 棟 公共施設 2 箇所 公道 3km ・ 総事業費 1,970,000 千円 		
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B) 2,851,355 千円</p> <p>総 費 用 (C) 1,593,945 千円</p> <p>分析結果 (B/C) 1.79</p>		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考えている。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現状の施設配置では火山泥流が発生した場合、下流域へ泥流被害を与える恐れがあり、かつ、地元より下流域の保全及び地域住民の安全確保も求められていることから、当事業を実施する必要性が認められる。 ・ 効率性 当事業の計画に当たっては、現地の状況に応じた最も効果的かつ効率的な工法・工種で検討されており、効率性は認められる。 ・ 有効性 当事業を実施することにより、硫黄沢周辺で氾濫する泥流が抑制され、下流域の保全が図られ、有効性が認められる。 		

